

新予報技術講習会(予報技術コース) 受講者募集 ご案内

1. 日時 2024年2月14日(水) 13時30分から17時00分

2. 開催形式 Zoom機能を用いたオンライン講習

3. 講習の対象者

民間予報業務従事者、気象予報士資格取得者および同等の知識を有する方

4. 講習内容

テーマ① 「シビア現象の監視・予測について」 (約60分(質疑応答を含む))

【概要】 気象庁では、竜巻注意情報を年間1000回前後、記録的短時間大雨情報を年間100回前後発表している。本講習では、気象庁で実際に行っている監視業務及び各情報発表の判断を具体的な事例をもとに解説する。

テーマ② 「速報版解析雨量の過大値対策について」 (約80分(質疑応答を含む))

【概要】 速報版解析雨量では、たびたび局所的に過大な降水量となってしまう事例が確認されており、この原因は、レーダー観測のシャドウ(遮蔽)領域周辺での解析アルゴリズムに問題があることであった。このため、シャドウ領域も加味して雨量解析を行うような改修を、2023年6月13日に適用した。本講習では、その改修概要を説明する。

テーマ③ 「大雨・洪水警報に用いる『指数・危険度分布』の精度検証」

(約50分(質疑応答を含む))

【概要】 気象庁では土壌雨量指数・表面雨量指数・流域雨量指数をもとに大雨警報及び洪水警報の危険度分布(キキクル)を算出し、大雨警報・注意報の発表基準に用いている。危険度分布の運用開始から5年が経過し、データの蓄積が進んだことから、危険度分布やその基となる指数がどれぐらいの精度を有しているか検証を行った。本講習ではその結果を解説する。

5. 講師

テーマ① 「シビア現象の監視・予測について」

大気海洋部 予報課 技官

テーマ② 「速報版解析雨量の過大値対策について」

大気海洋部 業務課気象技術開発室 調査官

テーマ③ 「大雨・洪水警報に用いる『指数・危険度分布』の精度検証」

大気海洋部 気象リスク対策課 水害対策気象官

6. 募集定員 50名

7. 受講料 1,430円 (1,300円+消費税130円(教材費を含む))

8. 申込方法

添付の申込書を下記申込先へE-mailでお送り下さい。受講申し込みは先着順に受け付け、メールにより受講受付及び受講料振込先をご連絡しますので、受講料を指定の銀行口座にお振り込みください。一旦納入された受講料の返金には応じかねますのでご承知おき願います。なお、請求書・受領書を必要とされる場合は、その旨お申し出ください。

9. 申込締切り 定員になり次第締切ります。

10. 申込先・問い合わせ先

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-17 東ネンビル

(一財) 気象業務支援センター 「新予報技術講習会」 担当

TEL : 03-5577-2180、FAX : 03-5281-0443、E-mail : methiroba@jmbasc.or.jp